



We respect the progress of our village, which will be handed down to future generations.

村役場新庁舎完成。



■新世紀へ躍進する郷土の住民主権の殿堂である新庁舎の展望台の高さは37・29m。地球市民時代への北会津村の個性と魅力の発信地、北緯37・29度にちなむ。
■OA化が進展しテクノストレスが増大する執務環境を木肌の温もりで優しく包み、エレベーター等を設置して誰でも使いやすい福祉空間を実現。

敷地：1万7900m²
庁舎構造：3階+展望台
延べ床面積：3900m²
ピカリンホール：500m²
事業費：20億7400万円
駐車場：161台収容



★新庁舎のピカリンホール

在宅介護支援始まる。

■この年、保健と福祉の融合施設・地域保健福祉センターをホテルの森公園の隣接地に開設。
敷地：五五〇二㎡ 施設：一七四五㎡
事業費：七億四九〇〇万円

■デイサービスセンター（福祉施設）
建築面積五五七㎡
送迎健康チェック入浴給食・休憩・日常動作訓練。
■保健センター（保健施設）六八二㎡
検診ホール・保健指導室・栄養指導室
■ふれあいの湯（保養施設）二三八九㎡
浴場・サウナ・大広間・中広間

★昭和六十二年会津大橋開通。



「夢プラン21」策定。

■一九七五年（昭和五〇）北会津村振興計画策定。
■一九八四年（昭和五九）第二次振興計画策定。
■一九九五年（平成七）第三次振興計画策定。
将来像を「夢を育む新しいふるさと 北会津村の創造」とし、「夢プラン21」と略称。「21」は21項と21世紀の意。

ホテルの森公園広場でホテル祭り創出。

■一九九〇年（平成二）ホテルの里づくりのシンボル施設として、下荒井熊野神社周辺に約六千㎡の「ホテルの森公園広場」を造成。多目的広場、遊歩道、小川、親水池、あずまや、ハナシヨウブやカキツバタの植栽を配して一九九三年（平成五）完成。
■ホテル祭りは一九九四年（平成六）、ホテル乱舞の季節の到来を告げるアヤマの仲間が咲き出す頃、そのホテルの森公園で、多彩な催しを企画したのが始り。



ホテル条例制定。

■一九七〇年（昭和四五）新都市計画法により真宮地区が会津都市計画区域の市街化区域の指定（飛び地）を受ける。
■一九八一年（昭和五六）地権者組合方式により、居住地域と工業地域からなる約七〇ha、八三区画を造成。約千二百戸、四千八人の規模の職住融合型市街地を創出。一九八五年（昭和六〇）農村地域工業導入地域の指定を受ける。
■一九八九年（平成一）6月15日、村教委がゲンジボタルを村指定天然記念物指定を告示。
■同6月28日、条例26号北会津村ゲンジボタルの保護に関する条例（略称ホテル条例）制定。その第一条で「(略)文化的、学術的な価値を有し、かつ、現在及び将来の村民に潤いを与えるかけがえのない資産であることにかんがみ、北会津村及び村民等が一体となって、その保護を図り、もって将来の村民に貴重な文化財として継承することを目的とする。」第六条で「何人も、ホテルを採り、又は殺傷してはならない。ただし、…」と村教委が研究目的等に許可する例外措置をとりながら、ホテルの採り行為を禁止している。
■同時に、施行規則も制定。

大川端に都市型空間真宮新町誕生。

■一九七〇年（昭和四五）新都市計画法により真宮地区が会津都市計画区域の市街化区域の指定（飛び地）を受ける。
■一九八一年（昭和五六）地権者組合方式により、居住地域と工業地域からなる約七〇ha、八三区画を造成。約千二百戸、四千八人の規模の職住融合型市街地を創出。一九八五年（昭和六〇）農村地域工業導入地域の指定を受ける。



★村内初の都市計画公園となる真宮新町南の中央公園。工業地域にあたる真宮新町北には近隣公園も誕生。

平成11年 1999

平成8年 1996

平成7年 1995

平成6年 1994

平成1年 1989

昭和61年 1986



副議長／猪俣 准一



議長／高橋 誠

われら村民の思いはひとつ、村長が提唱する「生きがいと感動に出会える村」づくりに向けた村民ぐるみの実践を通して展望する、郷土・北会津村のたくましく限りなき発展です。



★昭和
★完成